

あつぎ郷土博物館年報 1

ANNUAL REPORT OF ATSUGI CITY MUSEUM



2019. May.

● 目 次 ●

I 建 築

1 沿 革	3
2 施設概要	3
3 平面図	4
4 展示テーマ	4

II 学 芸

1 展 示.....	6
(1) 特別展示	6
(2) その他展示	7
(3) 出前展示・講座	7
(4) 展示関連講座	8
2 普及啓発活動	9
(1) 講 座	9
(2) 古民家岸邸 展示	10
(3) レファレンス業務	11
(4) 刊行物	12
(5) 学芸員実習、職場体験学習	16
3 資料の収集と保管、活用	17

III 庶 務

1 組織及び職員	20
2 施 設	21
(1) 郷土博物館	21
(2) 古民家岸邸	22
3 入館者数等	23

I 建 築

1 沿 革

あつぎ郷土博物館の建設から開館までの経緯は、おおむね次のとおり。(仮称)郷土資料館として、平成29年度より本格的な建設準備に着手し、平成31年1月27日に開館。正式名称を「厚木市立あつぎ郷土博物館」と改めた。

平成20年6月	文化財課(当時)が市民公園(下川入)整備構想担当課に決定
平成27年3月1～30日	基本方針(案)に対するパブリックコメント実施
平成28年4月1日	(仮称)あつぎ郷土資料館検討委員会を設置
平成29年3月	(仮称)あつぎ郷土資料館建設実施設計、展示設計を実施、完了
平成29年10月	建築着工
平成30年9月	駐車場等外構工事着手、埋蔵文化財収蔵庫建築工事着工
平成30年10月31日	(仮称)あつぎ郷土博物館竣工
平成30年11月～	展示工事着手
平成31年1月18日	展示工事完成
平成31年1月27日	あつぎ郷土博物館開館。 あつぎ郷土博物館条例が施行される。

□ (仮称) あつぎ郷土資料館検討委員会

新井 一政	(神奈川県立生命の星地球博物館名誉館員)
鈴木 良明	(鎌倉国宝館館長)
加藤 芳明	(日本写真家協会会員)
薄井 和男	(神奈川県立歴史博物館館長)
門田 真人	(神奈川県立生命の星地球博物館外来研究員)
渋谷 嘉平	(青年の家跡地活用研究委員会会長)
近藤 英夫	(東海大学名誉教授)
大谷津 早苗	(昭和女子大教授)
大塚 清一	(公募による委員)
眞野 晃一	(公募による委員)

2 施設概要

- ・所在地 神奈川県厚木市下川入1366-4
- ・敷地面積 10,025㎡
- ・延床面積 1,590㎡
- ・延床面積 1階 1,092㎡、2階 497㎡
- ・構造 鉄筋コンクリート造 2階建
- ・工期 着工 平成29年10月

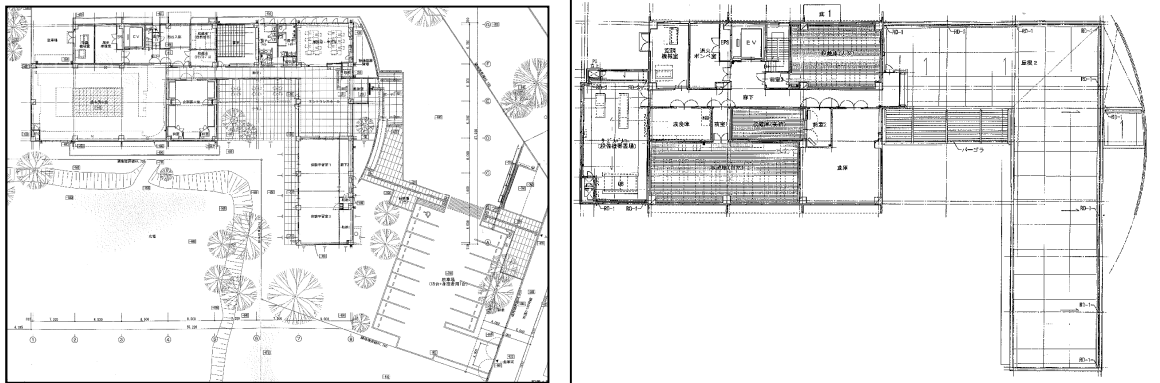
完成 平成30年10月31日

・開館 平成31年1月27日

・工事関係者一覧

建築設計・管理 株式会社小林建築事務所
展示設計・管理 株式会社丹青社
建築工事 山王・安藤特別共同企業体
外構工事 山王・安藤特別共同企業体
展示工事 株式会社丹青社

3 平面図 (左:1階、右:2階)



4 展示テーマ

基本展示は、地学・考古・歴史・民俗・自然、5つの分野で構成し、各分野でさらに項目、細項目をたて、郷土あつぎを理解できるような展示とした。また、石をテーマにした融合展示を置いた。展示は、実物資料を中心として興味深い資料を実際にみていただき、具体的なデータはパネル等で説明している。

①展示面積 292㎡

②展示資料数 590点

③展示資料点数内訳

テーマ	あつぎの風土を望む	あつぎの大地から	あつぎの原風景を訪ねて	あつぎの人、くらしに会う	あつぎの環境と生きものを探る	
資料点数	11	157	203	106	113	590

博 物 館 事 業
報 告

Ⅱ 学 芸

1 展示

(1) 特別展示

開館記念特別展 浮世絵の世界 —歌麿・北斎・広重—

期 間 1月27日～4月7日

開催日数 69日 展示点数 210点（展示替3回を含む）

入場者数 特別展示単独でのカウントはとらなかったが、
期間中の博物館入館者数は13,312名（1日平均 約193人）

平成31年1月27日のあつぎ郷土博物館の開館にあわせて開館記念特別展を行なった。あつぎ郷土博物館の収蔵品の中から、浮世絵の優品を中心に、次のテーマで展示した(=写真上)。

- I 「浮世絵」とは
- II 浮世絵をみる
- III 浮世絵をつくる
- IV 浮世絵とあつぎ

IIのコーナーは、①大山・江ノ島・富士山、②江戸時代の人と暮らし、③幕末・明治時代の人と暮らし、④役者絵厚木と坂東彦三郎、四つのテーマとし、約2週間ごとに展示替えを行って、多くの作品をみてもらえるようにした。

IIIは、アダチ版画研究所から浮世絵の道具を借用し、浮世絵の作製工程が分かるように展示を行った。IVは寄託資料である歌川国経（市内荻野出身）の美人画、厚木の風景が描かれた浮世絵を展示する(=写真下)とともに、国経の「美人画絵馬」広重の「戸田川の渡し」のレプリカを作成、展示した。



(2) その他の展示

ア ホール展示

郷土資料館では平成22年度から「ホール展示」を開催してきたが、あつぎ郷土博物館でも、それを引き継ぎ、エントランスホールを利用して資料を展示、紹介した。

第1回は、厚木市立北小学校から保管替えとなった菁莪小学校の資料から、写真資料を中心に展示、紹介した。

回	タイトル	期 間
1	—文教の地をバトンタッチ— 菁莪小学校から博物館へ ～序 章～	1月27日(日)～4月7日(日)

(3) 出前展示・講座

平成13年度より、郷土資料館が収蔵する郷土資料について市民への公開を進めるため、小中学校、公民館、保育所などで出前展示、講座を実施しているが、あつぎ郷土博物館への移転後も継続、実施している。

平成30年度は、「変わってきた人々の暮らし」と題し、講座を実施した。

タイトル	開催日	場 所	参加人数
出前講座	1月30日(水)	妻田小学校	82
	2月6日(水)	清水小学校3年生	136
	2月8日(火)	鳶尾小学校3年生	53
	2月12日(火)	上依知小学校	47
	2月13日(水)	愛甲小学校	75
	2月15日(金)	厚木第二小学校	155
	2月20日(水)	三田小学校	128
	2月21日(木)	南毛利小学校	150
	2月28日(金)	小鮎小学校	79
	3月7日(水)	北小学校	70
			975

(4) 展示会関連講座

特別展の開催にあたり、見学者の理解を深め、また展示効果を高めるため、展示テーマに関連した講演会・体験学習を開催した。

回	開催日	テーマ	場所	参加者数
1	1月27日(日)	浮世絵を楽しむ 講師 小澤弘(淑徳大学客員教授・江戸東京博物館名誉研究員)	体験学習室	100
2	2月3日(日)	浮世絵とかながわ、あつぎ 講師 桑山童奈(神奈川県立歴史博物館学芸員)	体験学習室	100
3	2月23日(土)	浮世絵をすってみよう! 講師 大塚真由美(あつぎ郷土博物館臨時職員)	体験学習室2	20
4	2月24日(日)	浮世絵と地方絵師 講師 平本元一(厚木市史編集専門員会委員)	体験学習室	50
5	3月3日(日)	浮世絵をすってみよう! 講師 大塚真由美(あつぎ郷土博物館臨時職員)	体験学習室2	18
6	3月16日(土)	浮世絵をする 一職人の技と体験— 講師 アダチ版画研究所	体験学習室	30
7	3月24日(日)	浮世絵をすってみよう! 講師 大塚真由美(あつぎ郷土博物館臨時職員)	体験学習室2	27
8	3月31日(日)	浮世絵をすってみよう! 講師 大塚真由美(あつぎ郷土博物館臨時職員)	体験学習室2	25
合 計				370



2 普及啓発活動

あつぎ郷土博物館では、調査、研究の成果を活かした普及講座を行なっている。今年度は、開館記念特別行事として以下の事業を開催し、多数の市民の参加をみた。また、古民家岸邸においても、講座、展示を行った。

(1) 講座

ア 開館記念特別講座

回	開催日	テーマ	場所	参加者数
1	2月2日(土)	菁莪小学校をふりかえり、未来へつなごう	体験学 習室	100
2	2月9日(土)	冬のむしさがし 講師:槐真史(あつぎ郷土博物館学芸員)	体験学 習室	降雪のため中止
3	2月10日(日)	あつぎの文芸 ～源養寺の俳句～ 講師:飯田好人(あつぎ郷土博物館臨時職員)	体験学 習室2	52
4	2月11日(月)	門田さんとあつぎの化石模型をつくろう 講師:門田真人(生命の星・地球博物館外来研究員)	体験学 習室	40
5	2月16日(土)	考古学と博物館 講師:井上洋一(東京国立博物館副館長)	体験学 習室	110
6	3月2日(土)	門田さんと七沢石を探検する 講師:門田真人(生命の星・地球博物館外来研究員)	体験学 習室	27
7	3月9日(土)	安西さんと野鳥を探して春の兆しを感じよう 講師:安西英明(日本野鳥の会主席研究員)	体験学 習室	45
8	3月10日(日)	吉田さん流・自然さつえい術 講師:吉田文雄(愛川ふれあいの村学芸員)	体験学 習室	28
9	3月17日(日)	ちよつきさんと早春の自然を楽しみ歩き 講師:一寸木肇(おおい自然園園長・自然観察指導員)	体験学 習室	30
10	3月23日(土)	早春の暗闇教室・ケモノのくらしをのぞく 講師:槐真史(あつぎ郷土博物館学芸員)	体験学 習室	30
11	3月30日(土)	やまだようじの下川入自然塾 講師:山田陽治	体験学 習室	28
合 計				490

イ 古文書講座

初めて古文書に接する人を対象に、楽しく古文書を読み進めるために、読解の初歩を学び、郷土博物館が収蔵する厚木にゆかりのある古文書を利用し、厚木の歴史を学ぶことを目的として講座を開催した。

回	開催日	テーマ	場 所	参加者数
1	2月14日(木)	はじめての古文書	体験学習室2	15
2	2月21日(木)			13
3	2月28日(木)			12
4	3月14日(木)			13
5	3月21日(木)			13
6	3月28日(木)			13
合 計				79

※講師:あつぎ郷土博物館臨時職員 飯田好人

(2) 古民家岸邸の展示

厚木市指定文化財である旧岸家住宅を展示場として、市民から寄贈された五月人形、雛人形を飾り、来館者に季節を感じてもらった。主に荻野地区から人形を募集し、人形に対する一言コメント、写真も添え、旧蔵者の思いが感じられる季節展示として開催した。その他、下記のとおり季節展示、イベントを行った。

回	タイトル	期 間	入場者数 (人)
1	古民家岸邸の端午の節句	4月18日(水)～5月13日(日)	575
2	古民家岸邸の七夕	6月27日(水)～7月16日(月)	211
3	古民家岸邸の十五夜と十三夜	9月20日(木)～9月30日(日) 10月17日(水)～10月28日(日)	197
4	古民家岸邸の雛まつり	2月14日(木)～3月10日(日)	1,581
合 計			2,564



むかしのあそび



雛祭り

(3) レファレンス業務

地域資料に関する市民の疑問、質問の相談に対し、郷土資料館が収集している情報によって回答を行っている。今年度の業務件数は以下の通り。

【利用者数】

総数102件(うち人文系59、自然系41、その他2)

分野	質問者	相談内容	対応
人文	一般	厚木の三橋姓・歴史散歩について	三橋家の古文書の所蔵はないか問い合わせ。所蔵はないが、市内各地の三橋家の古文書を厚木市史で利用していることを説明し、図書館で閲覧可能である旨回答。
	一般	厚木の民間宗教者資料について	地藏堂の位牌主である徳本と、光善院との関係についての問い合わせ。7/29に講演会を実施する旨を伝えた。
	一般	外山亀太郎の資料について	事業にあわせて顕彰したいので資料はあるかとの問い合わせ。遺族の資料はシルク博物館に寄贈されていると回答。
	一般	七沢城他について	七沢城に行ったが不明点が多く、市に資料などはないかとの問い合わせ。『厚木市史』や『七沢浅間神社』を紹介し、上杉氏や実蒔原合戦について説明した。
	一般	一番街の街灯について	街灯が何故、イチョウをかたどっているのかとの問い合わせ。保存樹が数本ある程度で特に関係はない。旧米道路と関係がある可能性を回答。
自然	一般	イシガメの病気について	飼育しているカメの甲羅が白く変色しているとの問い合わせ。脱皮の可能性を伝えたが、後日、症状が変わらないとの連絡があったため、塩浴や日光浴などを勧めた。
	庁内	市内公園で利用者が刺されたというアリの鑑定	問い合わせとともにサンプルが二種持ち込まれたが、いずれも握らない限り噛むことも稀で、刺すという事例も知らないと回答。ヒアリ騒動もあってか、アリの同定や駆除などの問い合わせが他に4件あった。
	一般	夏休みの自由研究について	昆虫の性別の調べ方、イモリとトカゲの調べ方、など2件の問い合わせ。いずれも適切な助言・指導を行った。
	庁内	外来トカゲについて	日立事務所、温水で採集したトカゲの同定依頼。また、資料館で標本にするため特定外来種のトカゲの引き取りを行った。
その他	一般	博物館履修生・地域博物館の状況について	職員の体制、事業内容の問い合わせ。HP上の「年報」を紹介し、一つの展示実施に関わる実務の一端を説明した。

(4) 刊行物

郷土資料館では、展示の内容をより深く理解する手立てとして常設展示図録、特別展示図録、収蔵資料展図録などを刊行している。

[郷土資料館 常設展示図録]

『常設展示図録 あつぎ百科』1998.11 B5版 1500部

[あつぎ郷土博物館 基本展示図録]

『あつぎ郷土博物館 基本展示図録』2019.01 A4版 1000部

[郷土資料館 特別展示図録]

『第1回特別展示 おおやまの生きもの』1998.11 A5版 1500部

『第2回特別展示 出開帳』1999.11 B5版 1500部

『第3回特別展示 化石』2000.7 A4変形 1500部

『第4回特別展示 東海道と矢倉沢往還』2001.9 A4版 1000部

『第5回特別展示 あつぎ地域の草木☆花めぐり』2002.12 A5版 1000部

『第6回特別展示 農具から農機具へ～流通民具が語るもの～』2003.11 A4版 1000部

『第7回特別展示 養蚕書と出版文化～養蚕文化はどう伝わったのか～』2004.11 A4版 1000部

『第8回特別展示 相模川の生きものに親しむ』2005.11 A5版 1000部

『第9回特別展示 商家と看板』2007.2 A4版 1000部

『第11回特別展示 本厚木駅と厚木駅～小田急、相鉄、相模線とあつぎ～』2008.11 A4版 1000部

『第12回特別展示 あつぎのむし』2009.11 A5版 1000部

『第13回特別展示 ー引札、チラシ、マッチラベル、錦絵、看板ー

『広告メディアが語る「商い」と地域の変遷』2010.11 A4版 1000部

『第14回特別展示 あつぎ あきのむし』2011.10 A5版 1000部

『第15回特別展示 あつぎ 縁起書の世界ー神さま仏さまのプロフィールー』2012.11 A4版 1000部

『第16回特別展示 あつぎの野鳥』2013.11 A5版 500部

『第17回特別展示 化粧』2014.11 A4版 500部

『第18回特別展示 あつぎの草木*花めぐり』2015.11 A5版 500部

『第19回特別展示 あつぎと酒』2016.11 A4版 500部

※第6回のみ無償、他は有償頒布。第10回は開館10年記念展。

[郷土資料館開館10年記念特別展図録] (無償頒布)

『郷土資料館開館10年記念特別展 あつぎ文化財まつり』2007.11 A4版 2000部

[あつぎ郷土博物館 開館記念特別展示図録]

『第1回開館記念特別展示 みる、しる、たのしむ

浮世絵の世界ー歌麿・北斎・広重ー』2019.01 A4版 1000部

[郷土資料館 収蔵資料展示図録]

- 『第1回収蔵資料展 厚木の画家 島村亮』1998.12 A4版 500部
『第7回収蔵資料展 町場のくらしと民具』2000.2 A4版 500部
『第9回収蔵資料展 職人の道具』2000.6 A4版 500部
『第11回収蔵資料展 鎧と刀』2000.12 A4版 500部
『第12回収蔵資料展 あつぎの野鳥』2001.2 A4版 500部
『第13回収蔵資料展 活動する青年たち』2001.6 A4版 500部
『第16回収蔵資料展 あつぎの民俗芸能』2001.12 A4版 500部
『第18回収蔵資料展 村の古文書—馬場文書—』2002.5 A4版 500部
『第19回収蔵資料展 あつぎの修験者』2002.8 A4版 500部
『第20回収蔵資料展 厚木の文学者 和田傳』2003.2 A4版 500部

[厚木市郷土資料館資料]

- 『飯田コレクション 養蚕書関連資料リスト』民俗資料調査報告 2005.3.31 A4版150部
『飯田コレクション 養蚕関連資料リスト』民俗資料調査報告 2006.3.31 A4版 150部
『飯田コレクション 地域関連資料リスト1』民俗資料調査報告 2006.3.31 A4版 200部
『あつぎ くらしの文化財 盆のスナモリ編』民俗資料調査報告 2006.11.30 A4版50部

[(仮称) あつぎ郷土博物館 準備NEWS]

- 『(仮称) あつぎ郷土博物館 準備NEWS』(1~9号) 2018.4~12 A4版 1,350部

『郷土資料館 NEWS』

『郷土資料館 NEWS』	(1号)	1999.3	A4版	500部
『郷土資料館 NEWS』	(2号～13号)	1999.4～2000.3	A4版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(14号～25号)	2000.4～2001.3	A4版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(26号～37号)	2001.4～2002.3	A4版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(38号～49号)	2002.4～2003.3	A4版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(50号～61号)	2003.4～2004.3	A4版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(62号～73号)	2004.4～2005.3	A4版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(74号～85号)	2005.4～2006.3	A4版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(86号～97号)	2006.4～2007.3	A4版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(98号～109号)	2007.4～2008.3	A4版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(110号～121号)	2008.4～2009.3	A4版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(122号～133号)	2009.4～2010.3	A4版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(134号～145号)	2010.4～2011.3	A4版	各500部
『郷土資料館 NEWS』	(146号～157号)	2011.4～2012.3	A4版	各600部
『郷土資料館 NEWS』	(158号～169号)	2012.4～2013.3	A4版	各650部
『郷土資料館 NEWS』	(170号～181号)	2013.4～2014.3	A4版	各650部
『郷土資料館 NEWS』	(182号～193号)	2014.4～2015.3	A4版	各650部
『郷土資料館 NEWS』	(194号～205号)	2015.4～2016.3	A4版	各650部
『郷土資料館 NEWS』	(206号～217号)	2016.4～2017.3	A4版	各650部
『郷土資料館 NEWS』	(218号～229号)	2017.4～2018.3	A4版	各660部

2018 April 一みんなで作る「あつぎ百科」一

準備

(仮称)あつぎ郷土博物館 NEWS 1

(仮称)あつぎ郷土博物館建設 準備報告①

サクサク 博物館建築現場



* (仮称)あつぎ郷土博物館は、4月1日から実施する新施設の「案内及び施行規則骨子(案)」の策定及び編纂に伴う案内決定等に係るパブリックコメントより、仮称名をあつぎ郷土博物館に変更します。文化財保護課、公民館等でご意見をお待ちしております。

(仮称)あつぎ郷土博物館の建設現場は、開館の年度を迎え、建設、展示の計画は、それぞれ大きく前進しています。上の班建写真ですが、最も手前は玄関、エントランスホールで、左手が体験学習室、一階奥が常設展示室、その手前は企画展示室となります。建物の形が現れてくると、そこで実施される常設展示、企画展示、講座などの博物館事業も良くなってきます。

本年度は、開館まで毎月、工事の最新状況と新施設の周辺を写真で紹介、季節とともに変わる自然豊かな現場の様子を、工事の進み具合とともにお伝えいたします。また、「博物館 準備 news」裏面では、開館中の郷土資料館内で進められている、新施設での展示、講座などの事業についての準備状況を逐次、報告してまいります。どうぞご期待ください。

問い合わせ先

厚木市郷土資料館 〒243-0003 厚木市厚町3-15-26
http://www.city.atsumi.kanagawa.jp/ 046-225-2515

2018 April 一みんなで作る「あつぎ百科」一

(仮称)あつぎ郷土博物館 博物館事業準備報告①

グレードアップする講座、見学会



現在の郷土資料館では、開館以来、郷土の歴史、文化、自然を市民の皆様にご紹介し、興味をもっていただけるよう数々の講座や見学会といった普及事業を実施してきました。開館以来20年間の間に行ってきた事業には、好評を博したものの、残念ながら人が集まらず数回で終わってしまったものなどがありました。中には、古文書読誦会、石造物の会などように資料館に根付き、協働して博物館活動を進める団体になったものもあります。

新施設では、進めてきたこれらの普及事業を回数も内容もグレードアップしたいと考えています。現在、計画を進めているところですが、夢をふくらませながら、企画、準備にあたっていきいきたいと思います。

《古民家岸部4月の休館日》*18日から「岸部 岸部の館内」開館中
2/月、3/月、9/月、10/月、16/月、17/月、23/月、24/月

(仮称)あつぎ郷土博物館 準備news 1

発行日：平成30年4月1日 編集：厚木市郷土資料館 発行：厚木市教育委員会

なお、市立博物館展示準備のための基礎調査報告書については、『厚木市博物館資料』という体裁で、以下のように刊行してきた。資料目録（購入、収集、寄贈）も同じシリーズにて発刊してきた。資料館開館後の資料の調査、整理等に関する報告等は、『郷土資料館資料』というタイトルで刊行を続けている。

従来、季刊で文化財関連のニュースを掲載してきた『郷土資料展示室だより』については『郷土資料館NEWS』という新しい名称で、資料館事業の周知を目的として月1度の発行とした。また、事業の報告を行うために『郷土資料館年報』を毎年発行しているが、4号より冊子での刊行をやめ、ネット上での公開のみとしている。

[厚木市博物館資料]

- 『厚木市荻野の動物Ⅰ』1995.3
- 『厚木市荻野の植物Ⅰ』1995.3
- 『谷戸田のムラ』1995.3
- 『鐘ヶ嶽東方の七沢石』1995.3
- 『最勝寺墓石調査報告書』1996.3
- 『厚木市荻野の植物Ⅱ』1996.3
- 『金光山最勝寺墓石調査報告書』1995.3
- 『収蔵資料目録 1 寄贈・購入昆虫標本目録(1)』1997.3
- 『収蔵資料目録 2 寄贈・寄託維管束植物目録(1)』1997.3
- 『厚木市相模川の動植物』1998.3
- 『長福寺墓石調査報告書』1997.3
- 『収蔵資料目録 3 脇一郎寄贈蝶類コレクション目録』2005.3

[博物館収蔵資料展図録]

- 『第1回博物館収蔵資料展 坂東彦三郎と厚木』1994.2
- 『第2回博物館収蔵資料展 世界のチョウ・厚木のチョウ』1994.11
- 『第3回博物館収蔵資料展 幕末―相州厚木―』1995.2
- 『第4回博物館収蔵資料展 ー夏の風物誌ー花火』1995.7
- 『第5回博物館収蔵資料展 厚木の植物ー植物に魅せられた人々ー』1996.2
- 『第6回博物館収蔵資料展 広重の富士三十六景ー厚木と富士信仰ー』1996.7
- 『第7回博物館収蔵資料展 厚木の里山をあるく』1997.3
- 『第8回博物館収蔵資料展 旅ー村、往還そして街道ー』1997.12

(5) 学芸員実習、職場体験学習

ア 学芸員実習

学生の学芸員資格取得のため、4人の実習生を受け入れた。実習カリキュラムは以下のとおり。

期 間	6月24日から4カ月の間（8日間）
実 習 生	1人（神奈川工科大学）
内 容	生物に関わる資料館業務全般についての実習
指 導 者	郷土資料館学芸員

月日	曜日	実 習 内 容	担当	実施場所等
6/24	(土)	ガイダンス 13時から	槐	学習相談室 厚木市内
		午後：生物実習・講座従事 夜間：生物実習・講座従事	槐	
7/29	(土)	午後：生物実習・講座従事 夜間：生物実習・講座従事	槐	学習相談室 中央公園
8/1～9/30 の間の5日間	-	午前：生物実習 午後：生物実習	槐	学習相談室
10/29	(日)	生物実習	槐	学習相談室
		閉講式	槐	

イ 職場体験学習

中学校の総合学習の一環として実施されている職場体験学習だが、今年度は南毛利中学校（11月17日）から3人を受け入れ、資料館職員の仕事の一部を体験してもらった。

3 資料の収集・保管・活用（平成31年3月31日現在）

(1) 資料の収集状況

郷土資料館では、郷土 厚木の歴史、民俗、自然に関する資料を購入、寄贈、寄託、採集などの方法で収集を行ってきた。昨年度、新たに寄贈された資料107点を加えた結果、合計点数は **179,716点** となった。

収集資料は、常設展示、特別展（年間1回）、収蔵資料展（同数回）、ホール展示（随時）などにおいて展示公開を進めている。

ア 入手方法別 資料の収集状況（累計）

	購入資料	寄贈資料	寄託資料	採集資料	その他資料	合計
人文	3,986	18,207	4,329	—	285	26,807
自然	1,511	24,958	1,436	124,956	48	152,909
合計	5,497	43,165	5,765	124,956	333	179,716

イ 寄贈資料の受け入れ状況（敬称略）

受入年月日	資料名	寄贈者名（敬称略）	氏名公開	数量
2018年4月4日	厚木市神社写真(95社)	厚木市温水 大和 昭一	○	1
2018年5月21日	フィルムカメラ(ヤシカ製)	厚木市松枝 川井 国雄	○	1
2018年5月23日	ポウチ(クルリ棒)、はかり(kg、貫兼用)	厚木市林 水島 美佐男	○	2
2018年6月6日	古文書等一括、軸、額等一括、民俗資料等一括(柳田資料)	厚木市中荻野 田原 登子	○	3
2018年6月7日	錨(川船用)、重箱(昭和30年7月 合併記念 相川村)	厚木市岡田 飯島 一雄	○	1
2018年6月18日	書籍一括、掛軸一括、民俗資料一括(リスト)	厚木市温水 鈴木 順一朗	○	3
2019年1月25日	ダイカイ(割椀型、箱入)、三宝、三階盆、酒注(一式)、井戸掘り鉢、カスガイ、シツグワ、万能、日本軍旧蔵用具(ジャッキ、舵棒)、センミダコ	厚木市上古沢 出口 昭夫	○	11
2019年1月25日	黒曜石標本	相模原市中央区 中村 喜代重	○	13
2019年2月22日	石鏃、発掘写真(宮城県青島貝塚、昭和45年)	厚木市下荻野 佐々木 千里	○	11
2019年2月28日	美人図(無落款 歌川国経)他9点	厚木市上荻野 斎藤 祥治	○	10
2019年2月28日	ひな人形(御殿飾り)	厚木市上荻野 斎藤 充	○	1
2019年3月5日	柄鏡(銘 福嶋出雲守吉定、天下一津田薩摩守) 木箱1点あり、『愛甲郡制誌』	府中市押立町 鯨井 智子	○	3
2019年3月8日	風呂敷(祝落成 中央公民館 総合運動場 昭和32年7月30日)	清川村煤ヶ谷 山田 茂徳	○	1
2019年3月23日	五月人形一括(鍾馗、神武天皇他)	厚木市温水 吉岡 勝美	○	13
2019年3月23日	自治会文書一括(衛生組合規約他)	厚木市 下川入第一自治会	○	33
				107

(2) 収集資料の保管状況

郷土博物館収集資料の多くは、博物館内の収蔵庫に収蔵・保管されている。

他に、昭和40年代から収集を進めてきた民具などの民俗資料は、三田公共用地内のコンテナ三基、下川入の資料収蔵庫で収蔵している。

郷土博物館内に設置された蔵庫は、除湿機を使用し常時55%程度の湿度となるようにし、室温についても常時摂氏20度の温度を保つようにしている。

美術、人文、自然、液浸の4室それぞれの資料の内容により標本箱や文書箱を使用する等、専用の保存収蔵庫に収納、保存している。今後は統合的虫害管理を実施し、状況によって燻蒸を行う計画とする。



ア 収蔵施設別 資料の保管状況

	郷土博物館	資料収蔵庫	三田コンテナ	合計
人 文	17,126	8,467	1,214	26,807
自 然	152,909	0	0	152,909
合 計	170,035	8,467	1,214	179,716

イ 収蔵施設面積

	郷土博物館	資料収蔵庫	三田コンテナ	合 計
面積 (㎡)	497	369	108	974

(3) 資料の館外貸出

ア 貸し出し

申請日	期 間	資 料 名	貸 出 先	数量
6/14	7/11～12/21	日向修験石造碑伝	神奈川県立歴史博物館	2

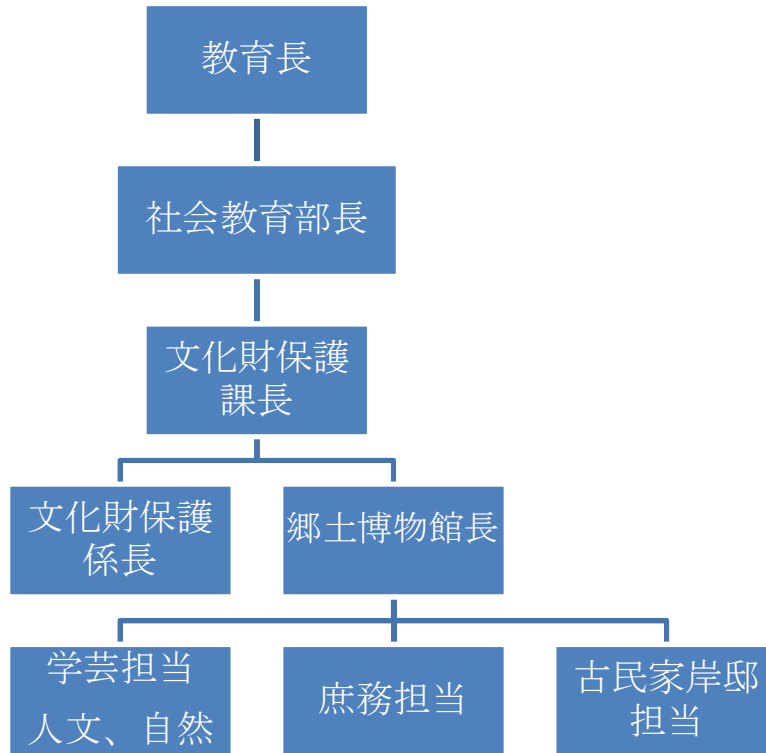
イ 特別利用

申請日	資 料 名	利 用 者	形 態
4/11	「領国橋花火之図」(初代歌川豊国)	長岡開府400年記念事業実行委員会	掲載
4/22	「町田」(F.ベアト撮影)	テレビ東京	放送
6/12	「町田」(F.ベアト撮影) 「金川ヨリ横浜遠見之圖」(歌川芳虎)	株式会社ユニット	放送
6/22	「厚木宿」(F.ベアト撮影)	株式会社ビデオコミュニケーションズ	放送
8/13	「百番観音霊験記 坂東巡礼第六番飯上山長谷寺」(三代歌川豊国、二大広重合筆)	株式会社交通新聞社	掲載
9/3	「游相日記」(画像2点)	綾瀬市教育委員会	掲載
10/3	「ベアト写真集」	清川村教育委員会 文化財保護委員	掲載
10/11	七沢石工道具(ヤ、ノミ、オオゲンノウ、セットウ)4点	株式会社新泉社	掲載
12/17	「町田宿」(F.ベアト撮影)	個人	放送

Ⅲ 庶 務

1 組織及び職員

(1) 組 織 (平成30年3月31日現在)



(2) 郷土資料館運営協議会

ア 委員構成

氏 名	所 属 (分野)	氏 名	所 属 (分野)
新井 一政	会 長 県立生命の星・地球博物館名誉館員 (生物)	明戸 葉子	資料館自主事業参加者代表 (民俗)
鈴木 良明	鎌倉国宝館館長 (歴史)	小松 秀雄	元ポーラ文化研究所長 (歴史)
馬場 弘臣	東海大学教育開発研究センター教 授 (歴史)	田村 勝利	公募による選考
鈴木 通大	実践女子大・成城大学非常勤講師 (民俗)	飯田 節子	公募による選考
市川 理恵	東京大学史料編纂所職員 (歴史)	渋谷 嘉平	社会教育の関係者 元青年の家跡地活用研究会会長

イ 会議の開催

日 時	内 容
6月19日	平成30年度郷土資料館事業計画について、(仮称)あつぎ郷土資料館建設事業の進捗状況について
3月23日	平成30年度郷土資料館事業報告について、厚木市附属機関の設置に関する条例の一部改正について、(仮称)あつぎ郷土資料館建設事業の進捗状況について、条例制定に伴うパブリックコメントの実施について

2 施 設

(1) 郷土博物館

ア 建設概要

位 置	神奈川県厚木市下川入1366-4
敷地面積	10,025㎡
建物構造	鉄筋コンクリート造 地上2階建
建物床面積	1,590㎡ ・延床面積 1階 1,092㎡、2階 497㎡
開館年月日	平成31年1月27日

イ 展示等面積

基本展示室	304.15㎡
企画展示室	90.81㎡
体験学習室	130.7㎡ (体験学習室1、2)
専門書庫(1階)	52.7㎡
収蔵庫(1階)	30.29㎡ (化石岩石展示・収蔵室)
展示準備(1階)	90.38㎡ (荷解き場、展示準備室等)
収蔵庫(2階)	312.25㎡ (人文、美術、自然、液浸)
施設管理室	245.24㎡ (消化ボンベ、機械室、エレベーター等)
事務・学芸室	68.22㎡
共用部	215.3㎡ (エントランスホール等)、48.06㎡ (トイレ、授乳室)

(2) 古民家岸邸

位 置	厚木市上荻野792-2
敷 地 面 積	1,746.25㎡
建物床面積	520.13㎡ (主屋1階 272.25㎡ 2階 140.24㎡ 土蔵1 1階 33.12㎡ 2階 33.12㎡ 土蔵2 1階 20.70㎡ 2階 20.70㎡)
建設年月日	明治24年



3 入館者数等

(1) 平成30年度 月別、施設別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者										2128	4786	4750
開館日										6	27	30
平均										355	177	158
累計										2128	6,914	116,64

古民家岸邸			合計入館者				3,420			開館日数			252		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
入館者	299	429	126	207	87	133	155	83	158	60	822	861	3,420		
開館日	22	20	22	22	22	19	21	22	18	20	20	23	252		
平均	14	20	6	10	4	7	7	4	9	3	41	37	14		
累計	299	728	854	1,061	1,148	1,281	1,436	1,519	1,677	1,737	2,259	3,420	3,420		

(2) 年度別 郷土資料館 利用者数の推移

	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
入館者	4,233	8,685	11,887	12,701	9,424	5,268	8,089	8,076	7,212	12,264	15,001
開館日	144	331	328	329	340	340	340	340	349	353	349
平均	29	26	36	39	28	15	24	24	21	35	43

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	合計
入館者	13,042	12,310	12,895	14,176	13,109	14,289	11,741	8,760	6,338	11,644	221,144
開館日	349	351	350	350	350	350	350	359	359	63	6,774
平均	37	35	37	41	37	41	34	24	18	185	33

※平成10年度は、11月3日～翌3月31日までの人数。

※平成15年度は、6月15日～9月13日まで耐震工事のため2階展示室を閉鎖。

※平成29年度は、10月1日より移転準備に伴い2F全フロアを閉鎖。

※平成30年度は、4月1日より休館し、1月26日からあつぎ郷土博物館として開館した。

あつぎ郷土博物館年報 1

発行日 令和元年5月31日
編集 あつぎ郷土博物館
〒243-0206 厚木市下川入1366-4
TEL 046-225-2515
発行 厚木市教育委員会